



Global COE “Network Medicine” 主催セミナー
薬学研究科薬物送達学分野講演会 2010-2
第329回東北大学大学院薬学研究科セミナー



The Role of Intestinal Glucuronidation in Modulating Gi Toxicity

by

Philip C. Smith, Ph.D.

Associate Professor, Eshelman School of Pharmacy,
University of North Carolina at Chapel Hill

Date: 平成22年6月1日(火) 9:00 - 11:00

Place: 東北大学大学院薬学研究科 大会議室 (2階)

Philip C. Smith博士は、定量プロテオミクス技術を利用してグルクロン酸抱合代謝酵素を含めた薬物代謝酵素の絶対定量解析を势力的に進められ、多くの業績を発表しています。今回は、これらの成果および最新業績を含めて、薬物の消化管毒性に対するグルクロン酸抱合代謝酵素の保護的役割についてご講演していただくことになりました。多数の方々のご来聴を心からお待ちしております。